

教育制度について

県立病院では、看護の道の第一歩を踏み出した新人看護師を支える「プリセプターシップ制度」を導入しています。  
 様々な知識や経験・技術が必要とされる看護師としてのキャリアを熟練の先輩看護師によるチームで支え、新人看護師の育成をしています。



新人看護師  
*Preceptee*  
 X  
 先輩看護師  
*Preceptor*



しっかりとチームで支えてもらえる安心感と  
 あなたの大切なキャリアアップをサポートします。

すべての新人看護師(プリセプティ)に数年先輩の看護師(プリセプター)がつくプリセプターシップ制度を取り入れています。  
 知識・技術面はもとより精神面でも大きな支えとなり、職業人としてスムーズなスタートを切ることができます。



キャリアラダーレベル別研修

レベルⅠ 新人看護職員ラダーレベルⅠ取得までの1年

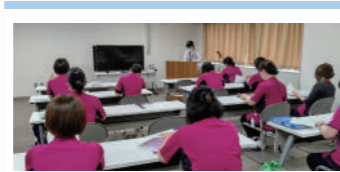
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規採用者研修</li> <li>●糖尿病看護研修</li> <li>●褥瘡ケア研修</li> <li>●災害看護</li> <li>●メンタルヘルス</li> <li>●アシスタントシャドウ研修</li> <li>●フォローアップ研修仲間の輪①②など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護技術研修</li> <li>●摂食嚥下障害看護研修</li> <li>●医療安全研修①</li> <li>●感染予防</li> <li>●ストレスマネジメント</li> <li>●先輩シャドウ研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリニカルパス</li> <li>看護記録</li> <li>看護必要度</li> <li>口腔ケア研修</li> <li>高齢者看護</li> <li>フィジカルアセスメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>急変時の対応研修</li> <li>医療安全研修② <small>・抗がん剤 ・ハイリスク薬 ・多重課題 ・輸血 など</small></li> <li>がん看護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周術期看護研修</li> <li>人工呼吸器研修</li> <li>心電図の見方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォローアップ研修 仲間の輪③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーフケア</li> <li>放射線看護</li> <li>院内留学研修 ICUや手術室へ研修に行きます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォローアップ研修 仲間の輪④</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォローアップ研修 仲間の輪⑤</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>看護観発表会</li> </ul>

レベルⅡ 卒後2～5年目



看護過程の展開  
 メンバーシップの育成  
 標準的な看護計画に基づき、自立して看護を実践できる。

レベルⅢ 卒後6～10年目



看護観の確立  
 リーダーシップについて  
 理解・実践  
 ケアの受け手に合う個別的な看護が実践できる リーダーシップを発揮し、後輩や学生の指導ができる。

専門領域  
 ●専門看護師 ●認定看護師

ジェネラリスト  
 ●看護実践・褥瘡対策・看護記録・目標管理・接遇・感染対策・安全管理・看護研究などの指導者  
 ●各種専門士

レベルⅣ 卒後11年目以降



看護倫理研修・QC活動参加・緩和ケア研修  
 質の高い看護提供・特定領域の能力拡大  
 幅広い視野で予測的判断を持った看護が実践できる。熟練した看護を実践し、チーム医療を推進できる。

レベルⅤ 副看護師長



マネジメント研修人材育成・看護管理  
 医療推進のための  
 リーダーシップ発揮  
 チーム医療を推進するために、創造的なリーダーシップが発揮できる。より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護が実践できる。

管理  
 ●看護管理 ●看護サービスマネジメント (認定看護管理者がいます。)